

東村山けやき会 後援会ニュース



卓球大会特集号！！

2017年12月1日
No-49
(平成29年冬号)

〒189-0002 東京都東村山市青葉町 3-30-7
TEL:042-397-5966
URL:<http://www.hmkk.or.jp>

発行 東村山けやき会後援会
発行責任者 会長 西村良隆

ご あ い さ つ

東村山けやき会後援会
会長 西村良隆

東村山けやき会後援会会報冬号（第33回地域交流卓球大会特集号）の発行にあたりひとことごあいさつを申し上げます。

当会は、東村山市域における精神障害の回復途上者が社会復帰しようと努めることを支援するボランティア団体です。

この活動目的を進める事業として、今年で第33回を迎える「地域交流卓球大会」は、例年のとおり、東村山市、東村山市教育委員会、東村山市社会福祉協議会のご支援、東村山市卓球連盟の全面的なご指導ご協力のもと、成功の裡に開催することができました。

今大会は、当初から毎年6月第2土曜日開催で続けてきましたが、今年は会場確保が難しく、初めて9月に開催することとなりました。このような事情の中でも、東村山市域の障害者福祉施設、病院等の関係者、地域ボランティアと障害者がこの催しの企画準備と当日運営を、共に汗する実行委員会方式により、積極的・主体的に進められたことは、極めて大きな意義があり感謝に耐えません。

実行委員会は、大会終了後に反省会を持ち、来年に向け一層の充実を図るべく、率直な意見交換を行いました。参加施設等で検討されたその内容には、スポーツを通じて共に支え合い、応援交流に友との結びつきを再確認した思いを語り次回に望もうとする姿に、胸を熱くしたところであります。

参加チーム・選手は、明日から再び来年に向け、白球を追い求めながら、更なる高みに向かって日々努められることでしょう。

最後に改めて、大会のご支援を下さいました会員の皆様、そして当日、ご多忙の中、渡部市長をはじめ、関係各位が足をお運びくださいまして、大会参加者に励ましのお言葉をいただきましたことに厚く御礼を申し上げます。

第 33 回地域交流卓球大会報告

第33回地域交流卓球大会の成功を祝して



東村山市卓球連盟 会長 船橋 侑

第33回の地域交流卓球大会が大成功に終わりましたことに対しまして心よりお喜び申し上げます。

さて、皆様ご存知のように、卓球は、リオのオリンピックで水谷隼選手が、個人初の銅メダルを獲得し、日本中の卓球関係者ばかりでなく、一般の方々にも卓球の面白さが浸透し、大変な盛り上がりを見せました。それ以来、メディアでもたくさん卓球を取り上げる様になり、今や全国規模で卓球が盛り上がりを見せています。

一方、地域に於いては、33年前に地域交流卓球大会を提唱され、年々充実した大会として継続されていることに接し、改めて、故熊本元市長の偉大さを感じざるを得ません。

将に、卓球は、地域に根づくスポーツ、生涯スポーツですが、地域交流卓球大会は、特に、東村山市に於いて、具体的な形として、卓球の良さ、特長を100%先取りした大会と言っても過言ではありません。

また、この素晴らしい本大会を支えて下さっている地域関係者の皆様をはじめ、毎年、国会議員・都議会議員をはじめ、地域の上層部の方々にも支えられており、また、大会を毎年工夫されて運営されている実行委員会の皆様に深く敬意を表したいと存じます。

卓球連盟としても、微力ながら継続して皆様のサポートをしていきたいと考えております。今後とも宜しくお願いいたします。



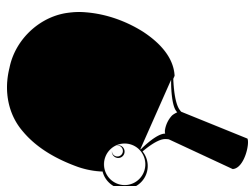
模範試合では、^{くわばら}葉原一平選手と船橋会長との白熱した試合を、船橋会長自らの解説で披露していただきました。
ありがとうございました。

^{くわばら}葉原一平選手
元全国中学出場
早稲田大学在学(4年)
東村山ジュニアクラブチームでの指導も行っている。

第 33 回地域交流卓球大会無事終了



表彰式の様子



東村山けやき会後援会副会長
第 33 回地域交流卓球大会
実行委員長 下山 停子

初めての秋の大会となり、参加者の皆様には、体調など少し戸惑いもあったのではないのでしょうか。無事に、そして楽しく終了できた事、感謝いたしております。

渡部市長をはじめ、諸議員の先生方、早朝より御参集いただきありがとうございました。

反省会の折、参加者の多くの方が、卓球を楽しみたいご様子でしたので、ピンポンラリー（又は台数）を増やすことを次回までに皆様と一緒に考えましょう。

卓球連盟の先生方、御指導、模範試合、審判と多事に亘りお世話になりました。感謝の気持ちで一杯です。

来期も又、御助力をと思い乍ら。



第 33 回地域交流卓球大会を終えて

東村山けやき会後援会役員
元東村山けやき家族会会長
荒川 せつ



卓球連盟の皆様

この大会設立も、昭和 58 年頃でしたので、随分昔になりました。地域に交流の輪を広げたい！その思いで家族会として立上げました。初めの頃は、三恵さんと多摩あおばさんとけやき作業所のメンバーだけでした。でも家族会のお母さんたちが大勢出て来てくださり、2 階の会議室で場所の設定、お昼のお弁当の仕分け等、和気あいあいと一生懸命にしていた頃がなつかしく思い出されます。

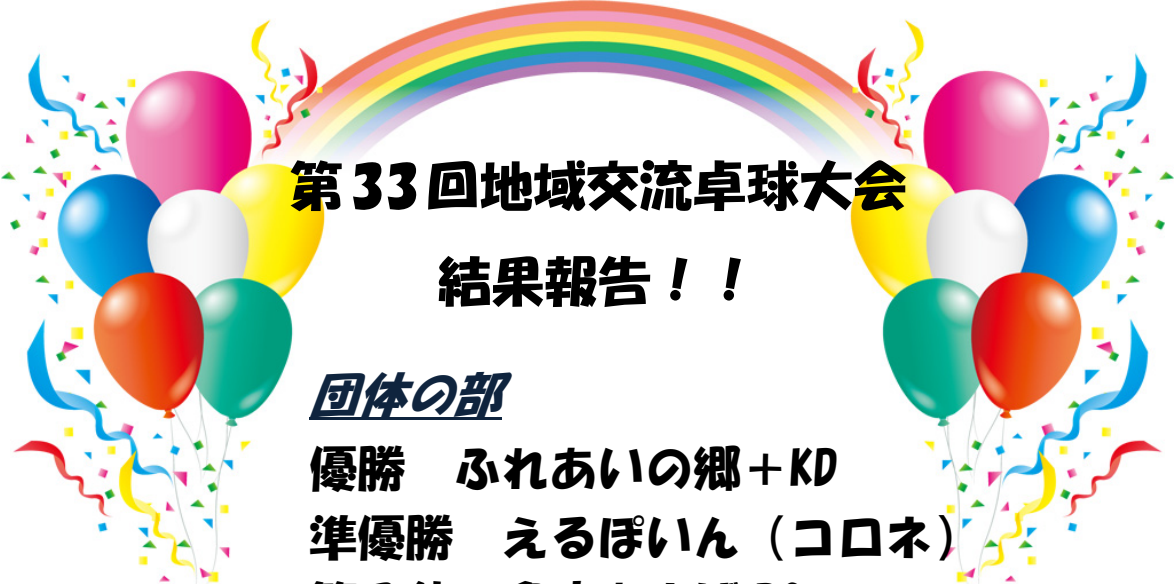
今では、参加団体も増えまして、この様に立派な大会が出来上がりましたことを本当にうれしく思っております。

地域のボランティアさんの御協力と市の御援助をいただき、それにもまして、卓球連盟の方々が、精神障害を理解してくださり、大きなお力を貸して頂きましたことに心より感謝申し上げます。

これからも長くこの大会が発展しますように祈っております。

下山停子実行委員長、ありがとうございます。これからもよろしくおねがい致します。





第33回地域交流卓球大会

結果報告！！

団体の部

優勝 ふれあいの郷+KD

準優勝 えるぽいん（コロネ）

第3位 多摩あおば DC

個人男子の部

優勝 近藤 律（多摩あおば OT）

準優勝 川口 功（ふれあいの郷）

第3位 吉澤 弘記（多摩あおば DC）

個人女子の部

優勝 工藤 仁果（ふれあいの郷）

準優勝 鈴木 敏江（仲間の家）

第3位 久保山 昌子（えるぽいん）

ピンポンラリーの部

優勝 関田 和晃（ふれあいの郷）・高木 良浩（仲間の家）

準優勝 辻中 大士（多摩あおば OT）・横田 彬信（多摩あおば OT）

第3位 大堀杏奈（多摩あおば DC）・寛田エミ子（ファミリー）

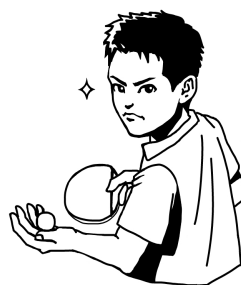
＜日時＞平成 29 年 9 月 30 日（土）
午前9時～午後3時
＜会場＞東村山市民スポーツセンター
＜参加総数＞約 190 名
＜主催＞東村山けやき会後援会
地域交流卓球大会実行委員会
＜後援＞東村山市
東村山市教育委員会
東村山市社会福祉協議会
＜協力＞東村山市卓球連盟

＜参加団体＞
多摩あおば病院
三恵病院
平成の里
地域生活支援センターふれあいの郷
える・ぽいん

NPO けやき第一作業所
NPO けやき第二作業所
グループホームむさしのはうす
グループホームはぎやまはうす
ファミリー



参加された皆さんの、ご意見・ご感想



会場準備、片づけ

- ・ 分担されていて良かった。
- ・ スムーズに出来た。



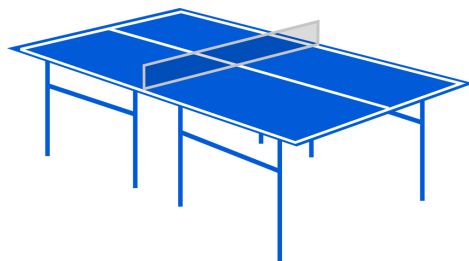
開会式、閉会式

- ・ 調度よい時間だった。



個人戦

- ・ 多摩あおばがすごかった。
- ・ 次回はもっと練習して頑張りたい。



ピンポンラリー

- ・ ピンポンラリーをもっとやりたい。(2 回戦をしてほしい)



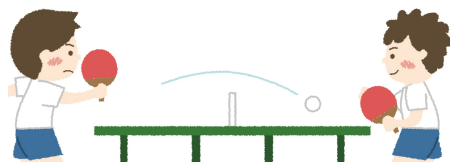
昼食

- ・ える・ぽいんのパンがおいしかった。
- ・ お弁当おいしかった。
- ・ 油ものが多かった。



団体戦

- ・ 悔しかった。
- ・ 試合進行が速やか。





応援

- ・たくさん応援した。　・とても楽しく応援した。
- ・応援グッズづくりも楽しかった。



その他

- ・9月開催で季節的にも暑くなく、練習もたくさんできた。
- ・9月開催で他の行事と重なった。



来年の目標

- ・団体戦で必ず表彰状をいただきたい！
- ・また出たい！

反省会を終えて

反省会では、来年に向けて、改善点や、検討すべき事項がたくさん出されました。

当日参加するだけでなく、実行委員会の準備段階から、意見交換を重ね、より良い卓球大会を目指して積極的に関わる方が増えています。

自分の意見が反映されてもされなくても、卓球に対する関心を深め、みんなで作る卓球大会になってきているのではないのでしょうか？

来年も、みんなで卓球をしましょう！



会計報告

平成 29 年度第 33 回卓球大会事業決算

収入	科目	予算額	決算額	差額	備考
	参加費	110,000	85,000	29,500	卓球大会参加費
	お祝い金	0	13,000	△ 13,000	
	法人負担金	137000	53,063	83,937	後援会賛助会費より
	合計	247,000	146,563	100,437	

支出	科目	予算額	決算額	差額	備考
	消耗品費	20,000	0	20,000	
	報償費	50,000	27,876	22,124	賞状、楯等
	通信運搬費	10,000	8,040	1,960	郵送料
	印刷製本費	15,000	0	15,000	ポスター印刷等
	保険料	1,000	480	520	行事スポーツ保険
	会議費	5,000	3,395	1,605	会議飲料第
	弁当費用	145,000	106,642	38,358	参加者弁当代
	雑費	1,000	130	870	振込手数料
	合計	247,000	146,563	100,437	

卓球大会決算については、平成 29 年 10 月 16 日東村山けやき会後援会役員 内田雅子推進委員（会計担当）が事務局にて帳簿の点検、実査を行いましたことをご報告申し上げます。



東村山けやき会後援会への ご入会・ご協力をお願い



社会福祉法人東村山けやき会は、こころの病を持った方々が地域の中で安心して生活ができるよう相談の場・働く場・生活の場・支援の場を提供しています。

東村山けやき会後援会は、これを援助すると共に、スポーツ活動や講演会活動等を行い、こころの病を抱える方々との交流を通じて、その苦しみを支え、理解を深めて、共に生き、共に暮らせる環境づくりを目指して活動しています。

様々な問題を抱える当事者、ご家族、関りあう地域の方々と、手と手とを取り合って話し合いませんか。

共に生き、共に暮らせる豊かな社会を目指すため、地域の皆様のご理解を願っております。どうか、あたたかい愛の手を宜しくお願いいたします。

賛 助 金			
個 人	1口	2,000円	(年間)以上
団 体	1口	10,000円	(年間)以上
臨時のご協力		ご 芳 志	

【振込先】郵便振替口座

00150-1-543714 東村山けやき会後援会

※ ご入会は随時受け付けております。

皆様のご入会を心からお願い申し上げます。

賛助金は、法人への寄付金とさせていただき、本会の目的達成に役立ててまいります。

お問い合わせ

後援会事務局（社会福祉法人東村山けやき会内）

TEL 042-397-5966